

社会資本総合整備計画（第3回変更）

持続可能な集約型都市構造の実現
～誰もが住みたくなる、にぎわいのあるまち～

平成 31 年 2 月 1 日

埼玉県川越市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成31年2月1日

計画の名称	持続可能な集約型都市構造の実現 ～誰もが住みたくなる、にぎわいのあるまち～										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成29年度～平成32年度（4年間）					交付対象	川越市										
計画の目標	公的不動産活用を中心とした、誰もがいつまでも住みたくなるまち、交流とにぎわいのあるまちの実現 ・あらゆる世代の快適な生活を可能とする居住誘導と公的不動産活用を中心とした都市機能の集積 ・公共交通の利便性向上による、本地区と周辺都市拠点及び住居地の円滑な移動の確保 ・魅力あるまちなみづくり、商業活性化支援によるにぎわいの創出																
計画の成果目標（定量的指標）	地区内の人口20,948人(H28)をほぼ維持（若干の増加を見込む） 鉄道・路線バスの利用者数を112,349,964人/年(H26)から113,000,000人/年(H32)に増加 歩行者・自転車通行量を120,464人/9h(H28)から144,000人/9h(H32)に増加 都市機能誘導区域（三駅を中心とした周辺）内の都市機能誘導施設設接地数を23件（H29）から27件（H32）に増加 立門前界限の歩行者・自転車通行量を15,840人/9h（H29）から16,879人/9h（H32）に増加 観光客の平均消費額を4,073円（H27）から5,100円（H32）に増加																
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値										備考						
	当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H31末)		最終目標値 (H32末)												
本計画区域内の人口		20,948人		21,000人		21,000人											
本計画区域内の中心三駅（川越駅、本川越駅、川越市駅）に乗入れる鉄道及び路線バスの年間利用者数		112,349,964人/年		112,600,000人/年		113,000,000人/年											
本計画区域内13地点における午前10時から午後7時までの歩行者・自転車の通行量		120,464人/9h		132,000人/9h		144,000人/9h											
都市機能誘導区域（三駅を中心とした周辺）内の都市機能誘導施設設接地数		23件				27件											
立門前界限4地点における午前10時から午後7時までの歩行者・自転車通行量		15,840人/9h				16,879人/9h											
観光客の平均消費額		4,073円				5,100円											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		3,330百万円	A	3,330百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%				
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	川越市	直接	川越市	川越市中心三駅周辺地区都市再生整備計画事業	遊路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、中心拠点誘導施設 194.2ha	川越市	H29	H30	H31	H32		3,330	1.60		
									合計					3,330			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
									合計								
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
									合計								
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
									合計								

交付金の執行状況

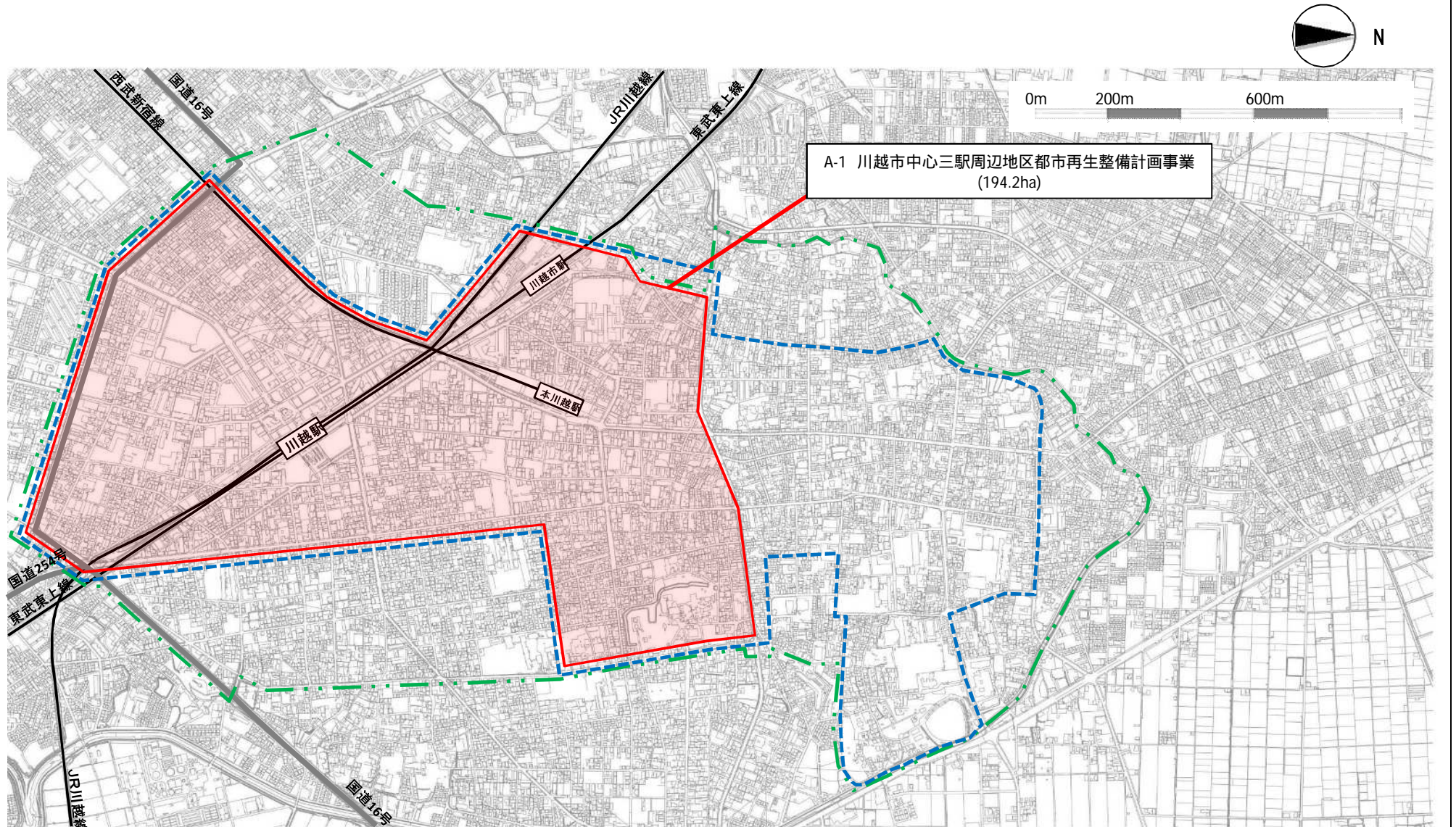
(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	57.8	207.5			
計画別流用 増減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	57.8	207.5			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0			
支払済額 (e)	57.8	27.0			
翌年度繰越額 (f)	0.0	180.5			
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0			
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0			
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている 場合その理由					

平成29年度以降の各年度の決算額を記載。



参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	持続可能な集約型都市構造の実現 ～誰もが住みたくなる、にぎわいのあるまち～		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成32年度（4年間）	交付対象	川越市



A-1 川越市中心三駅周辺地区都市再生整備計画事業
(194.2ha)

凡例

	中心市街地活性化基本計画区域
	都市機能誘導区域 (立地適正化計画)